

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成31年1月31日(2019.1.31)

【公開番号】特開2018-196413(P2018-196413A)

【公開日】平成30年12月13日(2018.12.13)

【年通号数】公開・登録公報2018-048

【出願番号】特願2017-101247(P2017-101247)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F	7/02	3 2 0
A 6 3 F	7/02	3 0 4 D
A 6 3 F	7/02	3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月18日(2018.10.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与する特典付与手段と、

操作機会が付与される操作受付演出を実行するとともに、該操作受付演出で演出受付されると操作後演出を実行可能な操作後演出実行手段と

を備え、

前記操作受付演出には、第1操作受付演出及び第2操作受付演出が含まれてあり、

前記第1操作受付演出では、

チャンネルに割り当てられている特定の演出音データが非抑制態様で通常通り可聴出力されているなかで操作機会が付与されるようになっており、

前記第2操作受付演出では、

チャンネルに割り当てられている特定の演出音データが抑制態様で可聴出力されるか、または非可聴状態にされているなかで操作機会が付与されるようになっており、

前記第1操作受付演出と前記第2操作受付演出とのいずれにおいても、その実行に際しては、演出受付が許容される状態になったこと、または演出受付が許容される状態になることを示唆する受付許容音の音データがチャンネルに割り当てられて非抑制態様で可聴出力されうるようになっており、

前記第1操作受付演出と前記第2操作受付演出とでは、前記操作後演出として異なる演出が実行されうるようになっており、

さらに、

前記第1操作受付演出の実行に際しては、前記受付許容音が、期待度の異なる複数態様のいずれかで可聴出力される

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

しかしながら、このような遊技機では、遊技興趣が低下することが懸念される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

手段1：判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与する特典付与手段と、

操作機會が付与される操作受付演出を実行するとともに、該操作受付演出で演出受付されると操作後演出を実行可能な操作後演出実行手段と

を備え、

前記操作受付演出には、第1操作受付演出及び第2操作受付演出が含まれております、

前記第1操作受付演出では、

チャンネルに割り当てられている特定の演出音データが非抑制態様で通常通り可聴出力されているなかで操作機會が付与されるようになっており、

前記第2操作受付演出では、

チャンネルに割り当てられている特定の演出音データが抑制態様で可聴出力されるか、または非可聴状態にされているなかで操作機會が付与されるようになっており、

前記第1操作受付演出と前記第2操作受付演出とのいずれにおいても、その実行に際しては、演出受付が許容される状態になったこと、または演出受付が許容される状態になることを示唆する受付許容音の音データがチャンネルに割り当てられて非抑制態様で可聴出力されうるようになっており、

前記第1操作受付演出と前記第2操作受付演出とでは、前記操作後演出として異なる演出が実行されうるようになっており、

さらに、

前記第1操作受付演出の実行に際しては、前記受付許容音が、期待度の異なる複数態様のいずれかで可聴出力される

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】